



ICT教育の先駆けとして導入され活用されている電子黒板(牧小学校)

国からの地方創生臨時交付金を有効活用

◆**一般会計補正予算には、国の地方創生臨時交付金(約7500万円)を財源とした、新型コロナウイルス感染症対策事業費が盛り込まれました。主なものは次のとおりです。**

◆事業者支援

県の要請や協力依頼に応じ、5月7日以降も引き続き営業の休業等を実施した事業者や、感染拡大防止策を講じて事業を実施した事業者に対しての支援。

◆公共施設等の感染防止対策

消毒液、パーテーション、非接触型体温計等の購入。

◆花いっぱい運動

ストレス緩和対策として、小中学校、公共施設に花を植栽。

◆園児・児童生徒に昼食の提供

小中学校が通常授業となるまでの分散登校を行った期間中、配膳時の感染予防対策や、保護者の負担軽減として、町よりパック弁当を提供。

◆オンライン学習環境の整備

1人1台端末に向けて、各小中学校の無線LAN整備やタブレットを整備。

◆農業振興

経済復興に向けて、農機具等の導入支援や、町の特産品のパッケージを新たに作成。

◆移動式空調機整備

災害発生時、避難所での密な状態や暑さを避けるため大型冷風機を整備。当面は空調機のないことも園で暑さ対策に活用。



校舎の入り口に植栽されたラベンダーとあじさい